

議会だより



みんなで力を合わせてキャンプ料理をつくる中西別小学校の子どもたち

主な内容

町長の行政報告（産業の動向 ほか）	2
議案の審議と結果（補正予算・条例 ほか）	3～5
一般質問 4 議員	6～10
特集 一般質問のその後 どうなった校舎跡地	11
議会のうごき（ビザなし交流・全道町村議員研修 ほか）	12～13

シリーズ

● 議会のみめ知識「予算を伴う条例案」	12
● 輝け！学校「中西別小学校」	14

町長の 行政報告

平成21年第2回定例議会が6月23日から24日までの日程で開かれました。町長の行政報告を要約して掲載します。

産業の動向

酪農畜産 伸びる成分調整乳の消費

生乳生産は全国では減っていますが、管内・町内ともに順調に伸びています。

町内では一月から四月まで十五万五千八百五十ト、生産額は百二十七億八千七百万円となっています。

三月からの乳価の大幅な引き上げは朗報でした。しかし、その後

生乳生産量

	対前年比（4月）
全 国	1.2% ↓
管 内	3.4% ↑
町 内	2.6% ↑

全国の消費量

	対前年比（4月）
飲 用 乳	4.0% ↓
チーズ向け	16.2% ↓

の乳製品価格の上昇・景気低迷により飲用乳消費が減退しました。

割安な成分調整乳の伸びが大きく、飲用乳の需要減少とクリーム・バター在庫の増加が憂慮されます。

水産業

水揚げ額は不景気反映して低迷

ホタテは数量三千五百三十八トで前年同期比一〇五%、金額では二十八億八千万円、八四%です。この不景気を反映して低迷しています。

今後の北海シマエビ漁、マス、秋サケ漁の価格動向と数量に大いに期待しています。

商工業

経営者グループに新しい試み

景気低迷などにより依然として厳しい状況の中で経営を余儀なくされています。

このような情勢の中で当町では、国の第二次補正予算による単独事業の実施もあり、地



今後の漁獲に期待が集まる北海シマエビ漁
(写真はエビ漁の打瀬舟 別海町のホームページより)

域企業の受注機会拡大、大型店舗の進出、開店で集客数が増えていると判断しています。

また、商工会におけるプレミアム商品券の発行、別海町商工業振興協同組合や経営者グループの方々の新しい試みなど、今後の商工業の活性化に期待しています。

観光

郊楽苑の再開に期待

四・五月の当町の観光客入込み数は前年比二三・五%減の一万三千人で、うち野付半島は前年比〇・九%減の一万一千二百人です。旧郊楽苑の宿泊客の減少も影響していると判断しています。

郊楽苑については現在、民間への貸付の契約に向けた協議を進めています。

定額給付金

申請受付は十月二日まで

《申請および支給状況》

六月十九日現在で、対象件数六千三百十九件のうち、五千八百六

十四件が支給されました。九二・八%です。支給総額は二億三千四百八十四万円となっています。

5月27日に行われた臨時議会ならびに、6月定例議会で審議・決定された主な事項は次のとおりです。

5月臨時議会

5月27日開催

平成21年度補正予算

補正額

予算総額

◇国民健康保険特別会計（1回目の補正）

8,510万円 増

24億7,110万円

国民健康保険特別会計の主な補正（歳出）

- ・各種国保制度の拠出金・納付金などの決定 1,232万円
- ・20年度決算額確定による前年度繰上充用金 7,278万円
（歳入が歳出に不足する分）

国民健康保険条例改正ポイント

■介護納付金課税（40歳～65歳未満の国保被保険者）

- イ. 限度額 9万円→10万円
- ロ. 被保険者均等割額 3,500円→6,000円

■後期高齢者支援金等課税額

- イ. 所得割額税率 1.4/100→1.6/100
（前年の基礎控除後総所得金額に上記の率を乗じて算出）
- ロ. 被保険者均等割額 6,000円→7,000円
（被保険者一人あたり分）
- ハ. 世帯別平等割額 8,000円→9,000円
（一世帯あたり分）
ただし、特定世帯 4,000円→4,500円
（特定世帯以外の世帯の2分の1）

■国保税の減額規定

- イ. 低所得者軽減を適用後、限度額超過世帯の限度額 9万円→10万円
- ロ. 法で定める軽減対象の統一化
- ハ. 上場株式等に係る保険税の課税の追加

条例を一部
改めました

◆国民健康保険税条例

平成二十一年度の地方税法の改正に伴う見直しのほか、赤字解消を視野に入れ、介護納付金課税額、および後期高齢者支援金等課税額を引き上げるものです。

反対討論

（瀧川榮子議員）

基金取り崩し・税率改正・限度額引き上げを行っても、国保会計は赤字状態です。原因の一つは、平成十八年度に制度化された保険財政安定化事業

審議の結果、賛成多数で可決されました。

賛成討論

（戸田博義議員）

改正内容は、地方税法の改正により介護給付金課税限度額が九万円から十万円に改正されたことと、所得の確定に伴い試算した結果歳入の不足する分について課税額を一部改正するものです。最小限の税率改正で

あり、国保会計の現状を考えるとやむを得ないと考え、賛成します。

- ◆議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例
- ◆特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例
- ◆教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例
- ◆職員の給与に関する条例

本年五月一日に行われた人事院勧告を尊重し、議員・特別職・一般職の期末手当等（六月支給分）について、暫定的措置として支給月数の一部（〇・二か月分）を凍結するよう改正するものです。審議の結果、職員の給与に関する条例については賛成多数、その他については全会一致で可決されました。

6月 定例議会

6月23日～24日開催

平成21年度補正予算

補正額

予算総額

◇一般会計（2回目の補正）

4億8,130万円 増 148億 810万円

◇老人保健特別会計（1回目の補正）

165万円 増 495万円

◇介護サービス事業特別会計（1回目の補正）

594万円 増 8億6,694万円

一般会計の主な補正（歳出）

○経済危機対策臨時交付金事業（29事業）

4億6,299万円を増額

・町営育成牧場整備事業 3,671万円

・緊急景気浮揚対策事業

（プレミアム商品券発行経費助成） 3,100万円

・温泉交流施設等源泉天然ガス対策・温泉施設源泉天然ガス対策助成事業 1,964万円

・住宅用太陽光発電システム導入助成事業

1,300万円

・町道整備・町道防雪対策・町道舗装補修事業

1億 261万円

・中西別幼稚園・野付小学校補修事業 6,900万円

・高規格救急自動車整備事業 3,752万円

○強い農業づくり交付金事業

2,073万円

（農業用機械購入等経費助成）

老人保健特別会計の主な補正

・一般会計繰出金（平成20年度医療費等の精算による）

165万円を増額

介護サービス事業特別会計の主な補正

・介護サービス事業費

594万円を増額



冬季用育成舎建設の予算がついた町営育成牧場
既成施設（写真）右に建設予定

条例を一部
改めました

◆町税条例

平成二十一年度の地方税法が改正されたのに伴い、左記事項を改めました。

- 住宅借入金等特別税額控除の創設
- 土地の価格の特例の継続
- 土地の負担調整措置の継続
- 長期優良住宅の固定資産税の減額措置

◆町営住宅使用料審議会条例

機構改革に伴い、所管課の名称を「建設水道部管理課」に改めました。

工事請負契約
の締結を承認
しました

◆町道上春別四五線交付金工事（改良）

簡易公募型指名競争入札で高玉建設工業（株）が落札しました。契約金額は六千九百

六十一万五千円で、工期は平成二十一年十一月三十日までです。

◆町道泉川北四線凍雪害防止工事

簡易公募型指名競争入札で寺井・別海工業経常建設共同企業体が落札しました。契約金額は七千六百二十三万円で、工期は平成二十一年十一月三十日までです。



補正予算で老朽化が激しく屋根が歪んできている中西別幼稚園の改修が決まった

国に意見書を
提出しました

◆基地対策予算の増額
等を求める意見書

提出者 総務建設常任委員会
委員長 池田 幸雄 議員

基地や関連施設等が所在する市町村に対し、各種の障害等さまざまな問題・課題を軽減し、町民生活の安定と秩序保持のため必要な予算の増額等を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

意見書が否決
されました

◆中小業者の自家労賃
を必要経費として認めることを求める意見書

提出者 瀧川 榮子 議員
他一人

商店や事業所などに



別海町にとって駐屯地・演習場の存在はさまざまな意味で大きい（写真は別海駐屯地入口）

おける家族の労賃を必要経費として認め、所得控除の対象にするため、所得税法第五十六条を廃止すべきであるとの意見書が提出されましたが、青色申告をすることにより、例外

られる（専従者の給与所得）ことや、政府が検討を約束していることなどから時期尚早であるとの反対意見が出され、賛成少数で否決されました。

請願書を受理
しました

◆北海道の広域性・自然条件を考慮したへき地級地・運用を求める請願書

提出者 根室教職員組合
別海支部
紹介議員 中村 忠士 議員
瀧川 榮子 議員

本年三月に「へき地教育振興法施行規則」が改正され、都市部との学校条件の格差の拡大が予想され、教育水準向上が困難となることから、広域性と厳しい自然条件を考慮し、へき地性が正しく反映されるよう運用すべきとの請願書を受理しました。
文教厚生常任委員会に継続審議（閉会中）として付託されました。

工事請負契約
の一部変更を
承認しました

平成二十一年二月臨時議会で議決された西春別中西別線改良舗装工事の契約金額を五万二千五百円減額し、八千六百五十七万二千五百円に変更しました。



西春別中西別線改良舗装工事

町政の ここが聞きたい

6月定例議会では第1日目(6月23日)に4議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

■佐藤初雄 議員

- 1 中山間事業の継続要請を……………6
- 2 新型インフルエンザの今後の取り組みは……………7
- 3 太陽光エネルギーの普及促進策は……………7

■中村忠士 議員

- 1 農地を大企業の意のままにさせないために……………8
- 2 アイヌを先住民族とした
国会決議を踏まえた施策を……………8

■瀧川榮子 議員

- 1 介護保険事業計画にも協働の力を……………9
- 2 新型インフルエンザ対策は……………9

■丹羽勝夫 議員

- 1 郊楽苑閉館に問題はありますか……………10
- 2 酪農工場の投資の予定は……………10

水沼町長
実施効率の良い事業
で、恒久法の要求もあ

後
業
し
業
後
の
考
え
方
は
。

質問

飯島産業振興部長
(答弁を別表にまとめ
ました)

個人
額
は
。

佐藤初雄議員

町長 独自に二回の要請を行っています

佐藤議員

中山間事業の継続要請を

り継続すべきと考えて
います。

質問

恒久的事業に結びつ

けるためにも、根室管内総住民による統一運動を展開する必要があります。

水沼町長

農協などと情報交換し、道要請も必要と考えています。また、国に対しては独自に三回の要請を行っています。

■別表 中山間事業の概要

I. 別海町集落 (30%分) 13億259万7,000円 (平成17年~平成21年まで見込み)		
①農業生産活動等 ・オルソ画像作成 ・中山間面積測定・更新業務 ・農業振興整備計画作成 ・河川周辺植林 など 小計 1億8,998万1,000円	②農業生産活動体制整備 ・町営育成牧場草地整備改良 ・雑排水処理施設整備 ・疾病予防対策 (BVD-MD対策) ・乳温計設置・ファックス同報装置更新 ・臭気対策・酪農研修牧場運営助成 ・福祉牛乳支援 ・牛乳消費拡大 小計 9億7,025万3,000円	③その他 ・集落の管理体制 ・業務委託ほか 小計 1億4,236万3,000円
II. サブ集落分		
(1)共同 (40%分) 17億1,944万3,000円 ・農地の維持・更新 ・農道・農道環境の整備 ・畜舎環境整備・清掃作業 ・コントラクター、ヘルパー組織への助成 ・廃プラスチック回収助成 ・スラリー、堆肥散布助成	(2)個人 (30%分) 13億940万8,000円 ・営農・生産資材関係	

※1期対策(H12年~H16年)共同取組み対策 26億1,010万7000円 個人配分 21億1,736万4,000円 計 47億2,747万1,000円
2期(H17年~H21年)を含めた合計 90億5,891万9,000円の見込みです。

佐藤議員 新型インフルエンザの今後の取り組みは

福祉部長 対策本部を設置しました

当町の状況と取り組みをお聞かせ下さい。

佐竹福祉部長

六月十八日現在、当町では感染の報告は受けていません。

町長を対策本部長とする別海町新型インフルエンザ対策本部を設置し、総合的な行動計画の策定、長期管理体制の構築を行っています。

質問

観光、宿泊旅館業者の影響、重症化しやすい五歳児未満、妊娠後期の女性、基礎疾患者への対応、集中治療室での人工呼吸器など、万全の対応をしてほしいと思います。

佐竹福祉部長

全職員で対策の実施に向けた構築を行っています。

発生前は、発生させない・持ち込ませない、発生後は、感染拡大を

可能な限り阻止し、町民の健康被害を最小限にいくとめ、パニック

や混乱を防ぎます。

佐藤議員

太陽光エネルギーの普及促進策は

町長 国の情勢をみながら、施策を展開します

佐藤初雄議員

国はクリーンエネルギーの一環として、十一年後には現在の二十倍、四十一年後には四十倍に普及する予定です。

今後、エコへの関心の高まり、また、大型施設などへの設置、余剰電力の売電など設置形態も変化すると思われる。

当町は本年度予算に家庭用補助制度を計上しました。現時点での申込み数と設置規模の傾向は。

飯島産業振興部長

今回の申請数は十八件、最小で三・〇四kW、最大で九・九九kWです。

質問

今後、国の補助制度と併用となることを含んだ事業に対する考え方は。

水沼町長

温室効果ガス削減に向け、安定した技術の太陽光発電が注目されており、環境省・経産省・農水省・文科省は各自の立場で推進しています。

個人住宅向け補助事業の復活、電力の買取制度の検討、公共施設の設置補助など、国の情勢、産業界の動向を見ながら施策の展開を図っていきます。

質問

CO₂削減、温暖化対策、産業の活性化、雇用創出にもなります。

町独自の予算確保、増額に向けた取り組みと国への取り組み姿勢は。

水沼町長

町の産業の中での位置づけ、人材の育成、誘致、インフラ整備の視点からも検討する必要があります。

将来の炭素税の導入、CO₂排出権取引など、情報を早く共有し、対



6月議会の補正予算審議で37件分の補助が決まった太陽光発電設備

**議員 農地を大企業の
意のままにさせないために**

町長 **安心・安全の政策が
進むようしつかり監視します**

中村忠士議員

改定農地法が国会を
通過しましたが、農外

企業・一般株式会社に
農地を「自由解放」す
る危険性ははらんでい
ます。「農地所有・利用
の権利は自ら耕作する
者のみに認める」とし
た農地法の原則が確立
されたことにより、戦
前の地主制度から農民
を救い、農地の無秩序
な転用や土地投機を防
いできました。

この原則は耕作者主
義を堅持すべきであ
ると考えますがどうで
すか。

水沼町長

法改正においても農
地所有については耕作

を図る取り組みを行っ
ています。

質問

この間「規制緩和」
「新自由主義」の名で
さまざまなが進め
られてきました。

その最たるものが雇
用や食品製造販売の規
制緩和です。それが社
会をむしばみ、崩壊さ
せようとしています。

質問

農地法改定のバック
には経済界の思惑があ
ります。経団連は「家
族的営農を根本的に改
革する必要がある」と
言い、家族経営は邪魔
だとしています。だか
らこそ、農業委員会の
役割が重要になってき
ます。農業委員会の強
化・活性化が必要です。

水沼町長

農業委員会の活動計
画（案）をホームページ
に公開し意見を求め
るなど、農業委員会の
活動をオープンにし、
透明性と公平性の確保

水沼町長

その通りだと思つて
います。行き過ぎた自
由主義は今反省もされ
ています。安心・安全
の方向に政策が進むよ
うしつかり監視します。

**アイヌを先住民族とした
国会決議を踏まえた町の施策を**

町長 **アイヌの人たちの社会的
経済的向上のため努力します**

施策が必要です。

根本教育部長

加賀家文書歴史講座
や特別展を開催し、ア
イヌ民族文化の解説と
展示を行っています。

当町においてアイヌ
民族自らが伝統文化を
保護し継承しようとい
う活動があるかどうか
は確認していませんが、
今後そういう動きがあ
れば町としてもサポー
トしていきます。

質問

国連宣言や国会決議
は、アイヌの方々の誇
りを回復するのだとい

う積極的な宣言です。

「待ちの姿勢」では
なく、アイヌ文化や史
跡の発掘、保護、継承
に積極的にかかわって
いくことが重要です。

水沼町長

北海道において、ア
イヌ民族としての誇り
が尊重され地位向上が
図られる社会の実現を
めざす方策が策定され
ました。

町としても、道と連
携しながら、アイヌの
人たちの社会的経済的
向上のために努力して
いきます。

中村忠士議員

一昨年、国連におい
て先住民族の権利に関
する宣言が採択され、
昨年は衆参両院でアイ
ヌ民族を先住民族とす
る決議が全会一致で採
択されています。
これを踏まえた町の



チチリ（アイヌ民族の衣服）
直接生地に刺繍して作られ、日常生活だけに着るも
のと考えられています。（加賀家文書館蔵）

瀧川議員

介護保険事業計画にも協働の力を

福祉部長 事業者との協議・連携は重要と考えています

各事業者の現状については、事業者から請求される介護保険の報酬等により利用状況を把握し、将来推計をしています。

質問

事業所の現状を知るとは大切です。話し合いの場を持つことも大切ですが、介護保険事業計画でも協働していくことが大事としています。

佐竹福祉部長

行政担当者や介護サービス事業者との協議・連携は重要と考えています。

質問

介護保険事業計画は自治体の計画ですが、公的サービスを民間事業所も担っています。事業所の現状把握はどのようにしましたか。

佐竹福祉部長

計画策定委員には、住民組織の代表者や公募による被保険者が参加し、策定しました。

佐竹福祉部長

四月・五月の認定審

四月から介護保険の認定調査項目が減り、出来るだけ軽い判定を出して福祉費用を下げようとしています。四月以降の認定調査結果は。

佐竹福祉部長

全職員対象の研修会

相談体制確保のための職員研修に職種制限はありますか。

質問

佐竹福祉部長

役場機能維持のため、総合的に判断し業務体制の見直しを行います。

瀧川議員

新型インフルエンザ対策は

病院事務長 近隣医療機関の応援要請も考えています

案件数は七十九件です。一次判定で前回より軽くなつた方は二十九件ですが最終二次判定で

は前回より軽くなつた判定は四件です。従来の要介護度を継続できる経過措置もあります。

新型インフルエンザ発生時の人員確保の具体的内容は。

質問

健康でない方、高齢者などへの不安解消対策は。

佐竹福祉部長

関係事業者間で連携の上、必要性の高い利用者優先します。

質問

疾患により、インフルエンザに感染すると重篤な状況になる可能性のある外来患者への配慮は。

質問

高齢者の連絡網は必要だと考えますが。

佐竹福祉部長

今年度中に、要介護者の災害対策マニュアルを作成する予定です。

質問

医療提供の人材確保を要請できる体制は整っていますか。

真籠病院事務長

出来るだけ現有的のスタッフで進めていきます。対応が難しくなる場合、近隣医療機関への応援要請や、町内在住有資格者十名程度の方に有事の際の協力要請をする考えです。

質問

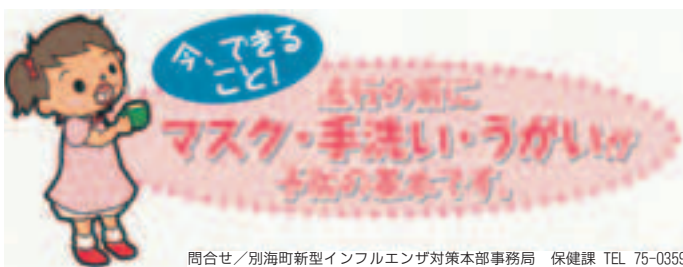
季節性インフルエンザワクチンの接種金額を抑え、予防を重視する必要がありますと考えますが。

水沼町長

接種金額の変更は考えていません。

真籠病院事務長

現在空いている部屋へ誘導するなど配慮します。



郊楽苑の閉館に問題はありますか

丹羽議員

総務部長 判断に問題はなかったと思います

丹羽勝夫議員
今年度二月末をもって郊楽苑が閉館しました。公衆浴場「清の湯」も休業し、街に風呂屋さんが消え、困っている方が大勢います。郊楽苑の廃業時期、入札時期、売却時期と売却条件に問題を感じませんか。

小守総務部長
昨年八月に売却する

方針で入札のスケジュールを設定し進めてきました。実際には、価格等の面で売却には至りませんでした。判断に問題はなかったと思います。

質問

郊楽苑施設の貸付に關して、①貸付金額の算定方法②駐車場の管理、温泉ポンプの管理、バスの扱いについてお聞かせください。

小守総務部長

①貸付料の算定は、町の行政財産使用料条例に基づいて行っています。②駐車場は公共駐車場という考え方です。温泉ポンプは町が責任を持って対応します。バスは備品として使ってもらいます。

質問

今までは、民間業者への配慮とし

て、合宿受け入れなどは控えてもらっていましたが。官民一体となった施設の誕生ですが、今回の貸付にあたって民間と競合することへの配慮はありますか。

小守総務部長

他の民間業者とともに、観光交流施設として地域の活性化のために連携していただきたいと思います。

質問

可燃性天然ガスが発生している温泉施設は



旧郊楽苑の源泉を施設に送るポンプ

適切な処理が義務づけられました。基準を超えているのは何件ですか。また、その施設に対する町の対応は。

小守総務部長

基準を超えた施設は町全体で七施設です。郊楽苑と温水プール、そのほか民間が五施設です。

質問

公衆浴場が休業していますが、町は公衆浴場のあり方をどのように考えていますか。

質問

郊楽苑の累積赤字はどう処理しましたか。

水沼町長

民間の方でやられる方がいれば助成を検討したいと思います。

酪農工場の投資の予定は

丹羽議員

産業振興部長 町内部、乳業興社と

協議していきます

丹羽勝夫議員

酪農工場が黒字でありながら、多額な予算計上までしてコンサルタントによる調査が必要だったのですか。

今後五年間で三億円を超える投資をする根拠が見えてこないし、工場規模からして全く

ナンセンスです。

三億円かけてどれだけのことができるのでしょうか。これこそ無駄金につながる危険で馬鹿げた話です。規模に合わない経営で困難になっているにもかかわらず、無理な事業を平然とやるうとしています。

当然、報告書には三

飯島産業振興部長

町内部、乳業興社とも議論をしていますが、やはり基盤をしっかりとした上で投資すべきと考え、再度双方の協議をする必要性を感じています。

今回の診断報告書には、三億円を越す投資の必要性の根拠となる数字は明確には出ていません。

特集

一般質問のその後

以前の一般質問をピックアップし、どのように町政に反映しているか検証した案件を今回特集として掲載しました。

初回は、学校統廃合による施設の利用についてのその後を追ってみました。



防音事業のため転用に制限があり跡地利用が遅れた旧光進小中学校校舎

質問と答弁を振り返って

平成二十年三月末で廃校になった光進小中学校は、平成七年に建て替えられ、法定耐用年数は六十年と耐用年数のほとんどを残しています。

この校舎の有効利用

どうなった校舎跡地

について、平成十九年六月の定例議会でも一般質問がありました。

教育委員会は、町内会との正式な協議も行われていないので、少し様子を見ながら進めていきたいと答弁していました。

その後の経過と問題点

平成十九年八月、町と地元地域との協議の中で体育館、教員住宅の利用の要望がありました。町としては再利用について検討中であつたので回答はしていませんでした。

平成二十年度に検討部署が教育委員会から総務部に移り、再利用について改めて検討することになりました。その後民間への無償貸付も視野に入れ、全国公募する方向で、道教育委員会と道防衛局に補助対象財産の処分の考え方について確認をしました。

しかし、防音事業については、補助対象の施設（この場合、教育施設）にしか転用は認められず、再利用の検討を中断していました。

今後の見通し

今年四月からさらに財産処分規制緩和が図られ（下記参照）、再度道防衛局と協議を進めています。

その状況を見ながら、改めて跡地利用の検討を進めていく予定です。

関連の案件は

平成二十一年三月末で廃校となつた、豊原・美原両小学校の施設の利用方法は、町・教育委員会・地元地域と協議を進め概ねの利用が決まりました。

今年度中には結論が出る予定になっていきます。



再利用の方向が決まった旧美原小学校校舎

参考 「補助対象施設の転用などの弾力化」

「補助金等適正化法第二十二条」の承認基準の弾力化措置が進められ、平成二十年度内に左記のように整備されました。

「十年経過した地方公共団体所有の補助対象財産については、原則、報告等で国の承認があつたとみなし、用途・譲渡先を問わず、国庫納付も求められません。」

議会のうごき

北方四島交流（ビザなし交流） 択捉島訪問報告

（5月22日～26日 択捉島）

十八年目を迎えるビザなし交流に参加しました。

五月二十一日、結団式が根室市北方四島交流センター（二・ホ・ロ）で開かれ、翌二十二日午前、元島民や返還運動関係者など参加者六十二人は、チャーター船（ロサルゴサ号）で根室港出港。

二十三日早朝択捉島に到着。早速視察、墓参が行われました。

択捉島最大の企業といわれる水産加工会社（ギトロストロイ社）を視察。

この企業は国後・択捉島の運輸・観光・銀行など幅広く手がけ、択捉島の就業人口の七〇%を雇用しています。また島全体の歳入の約八〇%に及ぶ税を納めていると言われている。



択捉島に向け出発する「ビザなし訪問交流団」の皆さん

ます。

会社独自のサケ・マスふ化事業は、今年については千五百万粒の規模であり、将来は一億粒までにする計画

であることが説明されました。

領土問題についてはトップ同士で議論され、私たちは、その問題から距離を置いてロシア

の皆さんとの交流を進めました。

一番印象に残ったことは、島への経済的援助の行き届かない中でも、時代の流れに合っ

た情報、パソコン機器関係などはまったく遜色なく、現在の情報化時代に遅れることなく動いているということでした。（池田議員）

議会のまめ知識

予算を伴う条例案

地方公共団体の長は、条例その他議会の議決を要すべき案件が新たに予算を伴うこととなるものであるときは、必要な予算上の措置が適確に講ぜられる見込みが得られるまでは、これを議会に提出してはならないとされています。

これは、財源の手当もないうままに、条例等の制定により地方公共団体が義務費として財政上の負担を負うことは、地方公共団体における財政の計画的かつ健全な運営を阻害することになるので、このような条例等の議会への提出について規制を加えたものです。

別海町議会アカデミー事業・ 北海道町村議会議員研修会

(6月29日～7月1日 富良野市・札幌市)

■アカデミー事業

六月二十九日、当議会独自研修「アカデミー事業」で、十四種分別や固形燃料等のリサイクル事業を先駆的に行っている富良野市を視察研修してきました。

「廃棄物処理及びリサイクル事業」について説明を受け、市民のゴ

三分別・リサイクルへの意識の高さやそれに応える行政側の迅速さ、きめ細かな対応など、多くのことを学びました。

説明のあと、「富良野地区環境衛生センター」を視察しました。

生ゴミに対する対応や臭気対策が細かく研

究されており、リサイクル後の肥料については成分などを含め、地域産業に適合したものと評価が高く、在庫もほとんどない状況でした。

富良野市の取り組みとして、「燃やさない・埋めない」という基本理念に立ち、住民と行政が一体となって、エコ対策・ゴミ対策・リサイクルへの取り組みが実践されていると推察されました。

■町村議員研修

六月三十日は、札幌コンベンションセンターを会場に、道内町村議会議員が一同に会して研修会が開催されました。

「住民自治時代の議会の役割と課題」と題し、江藤俊昭氏から「地方



町村議員研修会がまもなく始まるようとしている (札幌市)

議会は、住民に開かれ、住民参加を促進し、首長とも切磋琢磨し、監視と政策立案の役割を發揮すべきである」と、住民とともに歩む議会改革を強調する内容が語られました。

また、テレビなどで活躍されている読売新聞特別編集委員橋本五郎氏が「どうなる日本の政治と経済」と題して講演。

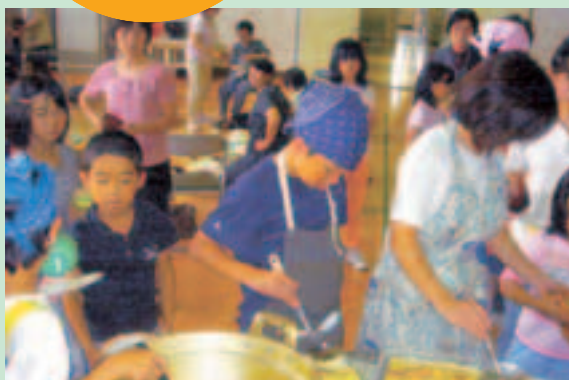
今後の日本の政治経済については、「国民には

いろんな痛みがある。政治はそれに敏感か？福祉は心だ。」と、夫を早く亡くし母一人で子育てをがんばった氏のお母さんの話も交えながら、鋭く、熱い語りで論じられました。

全体を通じ、今後、地方議会人としてあるべき姿を基本理念としてしっかり持ちながら議員の役割・責務を果たしていかなければならないと考えさせられました。(松原議員)



生ゴミを肥料化する施設を見学する当町議員 (富良野市)



収穫したイモをつかって料理する中西別小学校の子どもたちとお母さん

中西別小学校

本校では、全校縦割り班活動として、春夏秋冬の集会を行っています。春（五月）には、グラウンド開きとして二つのゲームを企画実施しました。

五・六年生は、戸惑いながらも上級生として、一生懸命下級生をまとめました。

六月の運動会を経て、七月には、夏の集会（全校キャンプ）が予定され

ています。四つのステージからなるゲームの企画進行や調理の準備、後片付けと休む間もなくスケジュールが組まれています。寝食を共にすることで、お互いを知る絶好の機会となり、精神的に大きな成長が見られる集会です。

そして秋（九月）。収穫したイモを使った料理を、祖父母の方々と一緒に食べます。この頃になると、下級生も自分と与えられた仕事をテキパキとこなすようになります。最後に冬（二月）。スケート記録会の後に、応援に来てくださった保護者の方々と一緒に、リンクの上でゲームをして楽しいひと時を過ごします。

一年を通じて、自分のことだけで精一杯だった子どもたちが、周りの人々（下級生・祖父母・保護者）への思いやりの心を持てるようになるのです。今年も子どもたちの成長を楽しみに、今後の集会活動を見守っていきます。

編集後記



この春の生産者乳価の引き上げにより、乳業メーカー各社は販売価格を一辺当たり十円～二十円引き上げました。この影響で需要が減退。メーカーの牛乳製造量も七～八%の減、スーパーなどの売上高も二～三割減と聞いています。

その中で町長の行政報告にもあるように割安な「成分調整乳」が売れています。生産量も五月の前年同月比で一九五%と報じられています。

牛乳は高いのか。本物の牛乳の、本当の価値が国民に理解されているのか。牛乳の生産量日本一の町から、誇りを持って牛乳をアピールしなければなりません。生乳の大量廃棄… 二〇〇六年春を二度と繰り返すことは出来ないのだから…。

（安部委員）

牧草収穫作業の合間をぬい編集作業に携わっています。天気予報を見ながら作業計画を立てるのですが、機械の故障、圃場条件の悪化などでなかなか予定通りに進みません。良質粗飼料確保のために、夜遅くまで作業しなければならなかった酪農家、コントラクターの方も大勢いたと思います。

今、全国的に注目を集めている栗山町議会も農業地帯。「議会基本条例」の制定、「議会報告会」の開催など議会改革を進めています。当町においても「委員会の所管事務調査」の報告などを行っています。町民の皆さんと意見交換する機会が少ないと思います。住民と歩む議会を目指して頑張らねばと思います。

（西原委員）

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン